

◆ 2019年度活動報告シート ◆

団体名：NPO法人 チーム東松山

22A-26

代表者：代表理事 松本浩一

URL : <http://npothm.hiki.tv/home>

1. 活動が必要とされた状況

市の川小学校に隣接する「市の川・車堀公園」は、市の川小学校の児童や近隣住民が利用する「こども広場」であるが、対象地は除草が必要な田畑である。会員の高齢化もあり、また斜面も多いため、安全に作業を進めるため、畝草刈機が必要とされた。また、東松山こどもエコクラブ（当法人主宰）の農作業体験時等、井戸からの給水を行うため、ソーラーパネルを使った独立型システムを構築し、ポンプや必要な電源を確保したい。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

畦草刈機を使った除草は購入後から継続的に行った。東松山こどもエコクラブは、7月7日にジャガイモ掘り、11月17日にサツマイモ掘りの農作業体験を車堀公園にて実施。10月12日、台風19号の襲来により稲刈り体験会は中止、また、当法人の事業として継続的に災害ボランティア活動に従事したため、ソーラーシステムの構築は予定より大分遅れたが、2月にシステムを設置。3月の農作業体験（ジャガイモの植え付け）にて給水。

- ・会員による畦草刈機を使った除草 毎月2～3回実施（毎回2～3回）5月～10月
- ・7月7日（日） 東松山こどもエコクラブによるジャガイモ掘り 23名参加
- ・11月17日（日） 東松山こどもエコクラブによるサツマイモ掘り 21名参加
- ・2月1日（土） チーム東松山会員によりソーラーシステム構築 7名参加
- ・3月1日（日） 東松山こどもエコクラブジャガイモ植え付け・森のピザ（28名）

3. 活動の成果

草の勢いが強い農地であるが、畦草刈機は粉碎まで行えるので農地の管理が大変やりやすかった。刈った草も敷き込むことができ、施肥にも役立った。ジャガイモ掘りやサツマイモ掘りなどこどもエコクラブの活動準備が例年になくスムーズに行えた。また、以前、サイサン環境保全基金を活用して掘った井戸の水をくみ出すシステムが構築され、畑作に必要な給水が確保できるようになった。



畦草刈機による除草



ジャガイモ掘り



サツマイモ掘り

4. 今後に残された課題

プレイパーク化をめざす車堀公園については、今後、さらに樹木の管理（老木の撤去と落ち葉の適切な処理）、屋外での学習スペース（屋根があり、テーブルや椅子がおけるスペース）の確保、近隣住民に公園の活用についての留意事項等を告知する掲示板の設置が課題といえる。